

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 03-005

PDCA	事務事業名	第6次総合計画評価事業	部課等名	企画部 企画課 企画担当	担当 内線等	竹之越 227	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第6章 自立した地域経営のまち 節：第1節 行財政運営とサービスの向上 基本施策：1. 行政運営 単位施策： 個別施策：					
	根拠法令等	-					
	対象・目的	第6次半田市総合計画に掲げた理念や将来都市像、まちづくりの目標を実現するため、毎年度評価を実施し、計画の着実かつ効率的な推進を確保し、適切な進行管理を行う。					
	目的を達成するための手段・活動内容	基本施策ごとに、成果、事業の進捗状況について、庁内評価を実施するとともに、有識者や市民等で構成する市民評価委員会により、市民目線による評価を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	3		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①総合計画市民評価委員会開催回数（評価分）		14	14	2	回
		②庁内評価の実施		1	1	1	回
		③市民アンケートの実施		1	—	1	回
		事業費		289	310	78	千円
		人件費		3,123	4,968	3,703	千円
		総事業費		3,412	5,278	3,781	千円
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		市民の視点に立った効率的で質の高い行政の実現に向け、庁内評価や市民等による評価を実施し、施策への反映及び事業展開することで、総合計画の適切な進行管理を図る。	実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
目標値							
C 課題の整理		観点別評価	必要性		有効性		効率性
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ない	※手段の変更	
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
		B					
		次期総合計画の策定を見据え、全45施策の総括評価を実施し、第6次総合計画のこれまでの成果、今後の課題を確認した。また、評価制度については、市民評価委員会からも概ね適切に制度が構築されているとの声をいただいております。総合計画の適切な進行管理を図ることができた。課題としては、現行の評価制度を基本とし、次期総合計画に向け、より望ましい評価手法について検討していく必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	終了					
	令和3年度の目標	成果指標		目標値	単位		